

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 みつばちキッズ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりの「やってみたい」という意欲を引き出し、自己決定を尊重する療育の実践	・成功体験を積み重ねる事で、自己肯定感を高める関わりを意識して支援している	・日常生活の中で、「自分でできた」を増やすための支援技術を高めていく
2	・子育ての悩みに寄り添う家族支援	・相談援助を通して、家庭での関わり方のアドバイス	・相談援助の技術の向上を目指す
3	・マルシェの主催や24時間テレビへの参加を通して、卒園・卒業後の切れ目のない場所の提供	・卒園・卒業後にご家族が立ち寄れる場所の提供で、交流が出来る関係性を維持している ・イベントを通して、子ども達が社会経験が出来る場を積極的に作っている	・相談援助での支援者のスキルアップ ・なんでも相談できる信頼関係の構築、環境作り

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児の障害特性や発達段階の幅が広い為、活動内容が一部固定化しやすいところ	・幅広い発達ニーズに対しての活動内容の検討時間が不足している	・一人一人に合った活動内容の提供ができるよう環境調整を行い、活動の内容を広げていく ・個々の特性を知り、発達年齢と実年齢に応じた活動を検討していく
2	・支援スキルや経験値による支援内容のばらつきがみられる	・定期的な内部研修の不足	・外部研修への積極的な参加で、学んだことを伝達していく研修をし、事業所全体の専門性向上に繋げていく
3	・地域との交流機会や学校・保育園等との外部機関との交流機会が薄い	・関係機関との連絡調整に時間を必要とする事や地域行事への参加・招待など、連携手段が定着していない	・地域社会に事業所の活動への理解を広めながら、子ども達の存在も広げていく活動をしていく